

部活動で鍛えた健脚を競う

松浦市中学校合同駅伝競走競技会

松浦市中学校合同駅伝競走競技会が1月21日、笛吹ダム周回道路で開催されました。

市内中学校から部活動ごとに男子34チーム、女子24チームが出場し、沿道で応援する保護者などの声援を受けながら健脚を競いました。また、この日は招待選手として、昨年の県高総体駅伝競技で第3位となった松浦高校陸上部と九州一周駅伝で活躍した松浦市職員の松尾匡易選手が参加。終始、選手たちを伴走し、力強い走り選手たちを応援しました。競技会の結果は次の通りです。

【男子の部 (9.8*₀)】

- ①志佐駅伝部 32分00秒 (大会新)
- ②御厨野球部A 34分05秒
- ③調川野球部A 34分46秒

【女子の部 (7.5*₀)】

- ①御厨陸上部 29分05秒
- ②今福テニス部A 32分15秒
- ③福島テニス部A 33分06秒



にぎやかに 100歳のお祝い

松田ヨシ子さん 100歳の誕生日

松田ヨシ子さん(御厨・小船)が1月22日、100歳の誕生日を迎えました。

松田さんは、明治45年生まれで、若いころは農業に従事。スポーツ万能で外に出ることを楽しみ、80歳くらいまでゲートボールやグラウンドゴルフに行き、数々の賞も取っていました。

現在は、新聞を読んだりテレビで時代劇を見たりするのが日課で、週2回デイサービスに出掛けることを楽しみにしています。



まちの話題

Matsuura City Topics

太古の話に興味津々

「松浦の哺乳類と福井の恐竜」講演会

「松浦の哺乳類と福井の恐竜」講演会が1月15日、きらきら21で開催されました。

鷹島町で発見されたサイ科化石の発掘調査や化石の分析を行った、福井県立恐竜博物館の宮田和周主任研究員を講師として招き、サイ科化石の分析結果や発掘の状況および恐竜博物館での研究などについて講演が行われました。

この日、会場に集まった約80人は、化石の研究などから判明する、はるか太古の地球環境や生物の話に興味深く熱心に聞いていました。



吹奏楽の醍醐味を堪能

New Collective Sounds 松浦演奏会

第2回まつうら音連コンサート New Collective Sounds 松浦演奏会が1月22日、文化会館で開催されました。

このコンサートは、九州北部地域の管楽器奏者で構成された吹奏楽団「New Collective Sounds」を招き、市民にハイレベルな演奏を鑑賞してもらおうと、松浦音楽連盟が主催したものです。

この日集まった約100人は、第1部でのシンフォニックステージで吹奏楽の醍醐味を堪能し、演歌からJ-POPまでさまざまなジャンルの曲が演奏された第2部では、手拍子をしたり口ずさんだりしながら演奏を楽しんでしました。



たすきをつないでダム 10 周

鷹島リレーマラソン大会

第4回鷹島町リレーマラソン大会（市体育協会鷹島支部主催）が2月4日、鷹島ダム周回道路で開催されました。

この大会は、1周1.2^{キロ}の鷹島ダム周回道路を10周することで順位を競います。1人最低400^{メートル}を走り、同じ走者が何度でもたすきを受け取って走ることができる特別ルールで行われました。

この日は、小学生の部12チーム、中学生・一般の部に10チーム、約200人が参加し健脚を競いました。上位の結果は次の通りです。

【小学生の部】

- ①福島ブルーアイランズA ②ザ☆ドリームダッシュ
③鷹島ホークスA

【中学生・一般の部】

- ①松浦市消防本部 ②F・K・D 8 ③玄海ボーイズ



松浦寄席で大笑い

三遊亭好楽・王楽親子落語競演会

笑点の大喜利でお馴染みの三遊亭好楽さんと王楽さん親子による落語競演会が2月5日、文化会館で開催されました。

小気味よい語り口調と想像力を描き立てる仕草。日本が誇る伝統的な話芸に会場を訪れた観客は、和やかな雰囲気と笑いに包まれた贅沢な時間を過ごしました。



マッカイ市とインターネットで交流

オーストラリア・デー

オーストラリア・デー（オーストラリアの建国記念日）に合わせた記念イベントが1月25日、市民ホールで開催されました。

このイベントは、オーストラリアマッカイ市と姉妹都市関係にある本市の国際教育活動の一環として実施。正確には1月26日が同記念日ですが、オーストラリアではこの日が国民の祝日（休日）となるため、前日の開催となりました。

会場には、松浦市国際親善協会の会員など約70人が集まり、スカイプ（インターネット電話サービス）を利用したテレビ電話で、マッカイ市の皆さんとの交流を楽しみました。

このほかにも、オーストラリアをPRする料理の試食や写真・生活雑貨の展示、方言などのコーナーがあり、会場を訪れた人たちは、思い思いにオーストラリアの文化を楽しみました。



必要とされること=生きる力

松浦市PTA 連合会研究大会

松浦市PTA連合会（下久保直人会長）の研究大会が1月29日、「元気で一步！子どもに示そう親の背中」をスローガンに文化会館で開催されました。

この日は、NPO法人全国生涯学習まちづくり協会理事の矢野大和氏による「笑って元気～生きる力を考えてみよう～」と題した講演がありました。

矢野氏は、ユーモアたっぷりに、日常で起きるさまざまな出来事を例に挙げながら「必要とされることが生きる力になる。相手が元気になる声掛けをしましょう」と呼び掛けました。

矢野氏の話に会場内は爆笑の連続。大会に参加した市内の小中学生の保護者など約500人は、その笑いの中にも心に響く矢野氏の熱いメッセージに耳を傾けていました。

